

末黒野

すぐろの

6月号 (通巻766号)



春の水

小川玉泉

降り足らひ甕に溢るる春の水
拾ひたる一円硬貨冴返る
本山の叢の照りや鳥交る
大寺の春へ三門くぐりけり

散りぢりに雀の発ちぬ犬ふぐり
拳ほどの大内雛へあられなど
手に載する漆光りの内裏雛
雨後の日につつまれて柳萌ゆ
昼風の海の碧さや花木五倍子
起こされて匂ふ棚田や沖眩し
せせらぎに耳を遊ばせ芹を摘む
大山へ雲の移ろひ雲雀東風

雛天神

松本三千夫

ふところに一社一寺や山笑ふ
紙雛に添はす出雲の雛天神
春雷や昼の灯台木偶の坊
啓蟄の野に来て探す詩の欠片
諸葛菜海の音して海見えず
茅花照る野を渡る風やはらげて
ピアノ弾く少女の出窓君子蘭
紅椿声を掛くれば応へさう
漁船みな陸へ春月やや歪み
蝌蚪の陣水膨らんでゐたりけり
細腰の鳴子こけしや春灯
崖道の果ては大海藪椿

甲矢集

配列は音順（当月巻頭作家は
次号は末尾になり以下同じ）

木瓜の花

小野口正江

小田原のおかめ桜は城染めて
わさび菜を姪が那須より春の雪
実朝忌過ぎて倒れし大銀杏
雛納め終りて気付く雨雫
彼岸前夫の塔婆を早々と
彼岸会や考の作りし五輪塔
大銀杏倒れて春の神事かな
彼岸入り俄作りの稲荷寿司
整体の長子の治療春嵐
寒暖の差のはげしさや木瓜の花

犬ふぐり

清海信子



朝靄と見紛ふ雨や黄水仙
鎌倉の小雨の中の初音かな
強東風の磨き上げたる様の空
雉鳴いて田の神様に酒その他
犬ふぐり海近く咲き海の色
二輪草次の風待つ間合かな
春めきて港の風の仄あまし
シャボン玉いびつに生まれ丸くとぶ
賜はりし春蘭の香を大切に
老松のどこかゆるるは恋雀

乙矢集

配列は音順（当月巻頭作家は
次号は末尾になり以下同じ）
太字は推薦句

露の臺

菅野 蒔子

雪落つる音と氣付きて安堵かな
梅咲くや藁屋根そこに残りをり
もぐら塚大地の春の息吹きとも
まんさくや旅への誘ひ二つほど
雛飾り二十四時間ひとり占め
身支度のほどには採れず露の臺
草青む勢ひ雨読のままならず

梅

木下和代

風匂ひ土の匂へり露の臺
藤つるの崖に傾れて芽吹きけり
殿の氣ままを通す梅真白
枝垂梅どこに佇ちても真正面
文学館のステンドグラス風光る
白魚や白き器に眼を散らし
染め抜きの屋号ののれん桜餅



春 水 熊切光子

流し雛手許はなるる時ふるふ
ほの暗き土の湿りや椿山
声かけて海へ繰り出す若布刈舟
川音を抱くつらつら椿かな

きらきらと暗渠を出づる春の水
かたまりて日を撥ね返す菖蒲の芽
淡雪の籬をくぐり 尉鷄

さくら 小山紫乃布

静かさの朝のさくらへ石畳
人とぬて話すことなき花の昼
聞き流す話や風の飛花落花
人恋ふに似て山頂の桜かな
亡き父のそばにゐしかと大桜
胸中に今誰も居ず夕ざくら
開店の報せのピラを花の下

春の闇 小山ミツ子

町川にボールの浮かび卒業歌
なごり雪と思へば愛し箱根山
春の闇むかしの嘘の胸をつく
少しづつ我呆けしか梅の散る
見上げれば春の三日月やさしかり
逃水を追ふ旅に似て我一世
春風やもらひしピラの捨てどころ

春一番 鈴木一三

踏板を渡して媪芹摘めり
登校の子等の蹴散らす春の雪
烏帽子岩春一番に曝されり
春一番杖つく妻を抱へけり
若布刈舟吃水深く戻りけり
豊なる仏の耳朶や花馬酔木
穂の芽や丹沢けふは隠れをり

子のケア病棟

万 仞 集

春泥を蹴り流鏑馬の始まりぬ

稲垣佳子

憚らぬ蛙合戦の池

森清堯

春シヨール小さく畳みてベルを押す

外山節子

春光を展げて開く大手門

秋山悌歩

春空に吸はるる若き海女の笛

前川美智子

クレーンの高きに点し夕朧

和田慈子

梅の香のとどく舞殿嫁御寮

堺昌子

幼子のでんぐり返る紫雲英畑

橋場美篤

難聴や治聾酒の日を日捲りに

荒井吉一

アネモネと決めて見舞の花を買ふ

浅川幸代

公園の遊具一新春うらら	田村加代
腰下ろす母校の土手や鼓草	久保田優子
雛かざり納めしあとの広さかな	三橋玲子
地鎮祭のまさらかな鍬や風光る	高橋定峰
吊し雛飾りをゆらし海の風	加藤静江
古着市絹地にまとふ春の蠅	青木由芙
合格子こどもの声にもどりけり	畠山和枝
春泥を跳びて鳴りたる腰の鈴	大川暉美
家苞のみかんの重し梅に来て	辻井ミナミ
磯あそび弾けし波をかぶりけり	亀卦川菊枝

巨林抄

まほろばの花見て発てよ帰る鳥
直ぐなるは一本もなし蜷の道
金縷梅の黄金まばゆく影淡し
田や畑を一枚にして雪の朝
風騒ぐ空と対峙の辛夷かな
春灯や江戸小咄の続き読み
たぶたぶと波の音のみ春の闇
妻寝かせ水仕の二更余寒なほ
豆撒やころがる声の保育園
なんとなく語らひ笑ひ春の宵
義経に習ひ飛び越す春の泥
春雪に音を消したる今朝の街

根本公子
神谷さうび
上月智子
古川敦子
今村通子
丸山治男
都留百太郎
中島ひろし
中山隆士
川越栄一
坂口郁子
向佐幸子